



泉大津市市民活動支援センター

おづぷらざ

vol. 08

【発行先】いずみおづ市民公益活動推進協議会 【発行日】平成 29 年 3 月 15 日



あなただけの妖怪がつかれるよ

この事業は泉大津市の
がんばろう基金を活用
しています

ホンノワまちライブラリーのユニークな取り組み

◆ まちかど本箱を 知っていますか ◆

ホンノワまちライブラリーは、自宅などの前に「まちかど本箱」という小さな本箱を置き、本箱の中にある本を自由に手に取って読んでもらう本の貸し借りから地域の人のつながりを作ることを目的として活動している団体です。

そのホンノワまちライブラリーが、本と地域を結び取り組みとして、平成28年12月7日に穴師小学校で放課後の学童保育「仲良し学級」の生徒たちに、「穴師地区の昔話を聞いて自分だけのオリジナル妖怪を作るイベント「穴師の妖怪づくり」を実施しました。

まちかど
本箱知ってる？



ハッイ

はじめに、紙芝居「あなたの水」を見た後、子どもたちは物語から思い思いにイメージをふくらませて妖怪を描いていきます。



どんな妖怪ができるかな

やさしい妖怪やおどろおどろしい妖怪など、さまざまに描いた作品をラミネートして穴をあけ、好みの色のヒモを付けたら完成です。



できた! ボクの妖怪

「きれいにできたから、お母さんにあげるの。」という女の子の顔は本当にうれしそうで、参加したみんなは、大満足でした。

おづぶらざの講座

おづぶらざでは、「わかりやすく・ためになる」をモットーに各種の講座を開催しています。平成29年2月には2つの講座を開催しました。



ボランティア活動入門講座



2月10日に大阪ボランティア協会の森本 聡氏を講師に迎えて「ボランティア活動入門講座」を開催しました。

あいにく、インフルエンザの大流行期で参加キャンセルが相次ぎましたが、参加した団体・自治会そして市民の皆さんが熱心に聴講し、ボランティアとは何かに始まり、活動の心構えや自分に合ったボランティア活動の見つけ方、最新のボランティア事情、さらに若い世代を活動に参加させて活動を活性化するための募集方法なども学びました。

参加者の受講動機は「ボランティア活動についてもっと知りたい」、「仕事を引退したらやってみたい」、「私に何が出来るかを考える機会として」などさまざまでしたが、それぞれが自分に問いかけることで心に残り、明日の活動への意欲につながる講座となりました。

展示パネル作成講座



2月26日に、おづぶらざフェスタなどのパネル発表やイベントのチラシ作りにも役立つデザインやレイアウトの基礎を学ぶ「展示パネル作成講座」を開催したところ、市民活動団体や自治会そして市民の皆さんの関心が高く、20名の定員を上回る参加者がありました。

現役の広告デザイナーであり、おづぶらざの登録団体「ねころじの会」の会員でもある稲垣 実氏が講師となって、広告物における人目を引く色づかいや、視線の流れを意識したレイアウト、また訴えたいことを効果的に強調するデザインなどについて、各種の例を目にしながら理解を深め、講座の後半は実技で参加者が絵コンテでパネルのイメージをデザインしました。今年のフェスタのパネル展示で、ここで学んだことを活かしていただけるかと思うと今から作品が楽しみです。

未来に伸びる芽 おおつの子

わかばの森アフタースクール「わかばクラブ」



この事業は泉大津市のがんばろう基金を活用しています



さかせ、さかせ～

わかばクラブが やってききました

NPO法人わかばの森アフタースクールは、市内の各小学校で、放課後を有意義に過ごすしてもらうため、遊びを通じて子どもに算数や国語を学ぶことの楽しさを伝える「わかばクラブ」を積極的に実施しています。

平成29年1月23日に旭小学校で実施された学びっこには40人近い仲良し学級の児童が参加し、会場の多目的室は大にぎわいでした。

ことばで遊ぼう

まず、ウォーミングアップは、言葉の数でたし算する遊びです。たとえば、「もも」1足「ぶどう」なら答えは「5」になります。こんな短い単語ならすぐに計算できますが、少し長い単語を足すとすると、子どもにとっては数えるだけでもひと苦労のようで、答えのまちがいが相次ぎますが、遊びだから気にしません。

次に、子どもたちをグループに分けてから、4人のスタンプが四方から同時に別々の単語を発声しそれを聴き分けて文字のカードから聞いた単語をつくるゲームを行いました。



さすがに、これには苦戦していましたが、4方向に担当を分けることで、それぞれの発声を聴き取るなどの工夫を思いついたグループもいて、適応力の確かさに感心しました。

トランプで学ぼう

続く問題は、グループで一列に並んで、2枚のトランプをめくり、「足したらいくら?」、「引いたらいくら?」などの質問に答えられたら後ろに廻って次の子に替わるという遊びで、どのグループが一番早く答え終わるかを競いました。

礼節の大切さを知り イジメをなくそう

最後に、論語が書かれたプリントが配られ、子どもたちは大きな声で論語の一節を読み上げました。



「己の欲せざる所を人に施すことなかれ。」すなわち「自分がされて嫌なことは、他人にしてはならない。」という言葉でしたが、読んでいる子どもたちの真剣な表情を見ていると、今はこの意味がわからなくても、きっと気づいてくると感じ、この子たちがやがて泉大津の学校からイジメということばをなくしてくれることを強く願いました。



今年もやります！

第2回

3月26日(日)
おづぶらさフェスタ

※写真は昨年のフェスタの実施状況です

市民活動団体・自治会の交流と活動発表の場である、ボランティア活動の祭典「おづぶらさフェスタ」を開催します。今年は会場をテクスピア大阪に移し、楽しい催して、皆さまのご参加とご来場を心よりお待ちしております。

日時 平成29年3月26日(日) 午前10時～午後4時

会場 テクスピア大阪 1階 小ホール

大型ディスプレイで会議を便利に



おづぶらさの会議スペースに設置している40インチのディスプレイには超小型のパソコンが接続しており、データを記録したUSBメモリをご持参いただければ、ディスプレイに表示して、団体のイベント企画や反省会などにご利用いただけます。

使い方や表示できるデータの形式などについては、おづぶらさにお問い合わせください。

〔開館日〕 木曜日～火曜日 午前9時30分～午後5時15分

〔閉館日〕 水曜日・祝日・年末年始

〒595-0025 泉大津市旭町22番45号 テクスピア大阪5階

[TEL] 0725 (24)9016

[FAX] 0725 (24)9017

E-mail oduplaza@outlook.jp

ホームページ <http://www.city.izumiotsu.lg.jp/>

泉大津市市民活動支援センター

おづぶらさ